

ZENSATO Monthly

全里マンスリー

2019年5月号 VOL113.

2019年5月10日(金)(公財)全国里親会

◆4月の動き◆**自民党議連と超党派の合同勉強会**

4月11日(木)、自民党の「児童の養護と未来を考える議員連盟」と超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」は合同勉強会を開催しました。ゲストは慎泰俊(しん・てじゅん)さん。議題は「社会的養護の概観と一時保護について」。

また、厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課から「児童相談所の体制及び実績調べ」として、先の勉強会の宿題に関する回答がありました。

厚生労働省初調査 子ども間の性暴力

厚生労働省は児童養護施設や一時保護所、里親宅などの子ども間で起きる性暴力について初の調査を行いました。

把握されたのは平成29年度中に732件、当事者になった子どもは1371人。厚生労働省は集計を解析し対策につなげていく、としています。

児童福祉週間が今年もスタート

毎年5月に実施されている児童福祉週間が今年もスタートしています(毎年5月5日の子どもの日から1週間)。

これは、子どもの権利に関する条約の精神にのっとり社会のあらゆる分野において、年齢や発達に応じて意見が尊重され、最善の利益が優先されることを国民全体で考えていこうというもの。児童福祉の理念の一層の周知と子どもを取り巻く諸問題に対する社会的関心の喚起を図るとしています。

毎年、標語を公募していますが、今回は吉村唯さん(山口県14歳)「その気持ち 誰かを笑顔にさせる種」が選ばれています。

◆お知らせ◆**奨学金など**

全国里親会事務局に「有朋教育芸術短期大学2020年度入学者(福祉奨学金)募集要項」が届いています。

これは養育里親家庭や児童養護施設からこの短期大学に入学する際、卒業までの3年間の学生納付金(300万円)を免除するというものです。申請資格は当大学を第一志望校として養育里親に養育されている児童。なお、教科書代(約8万円)や免許取得、同窓会費については負担となります。

奨学金については公的なものとして日本学生支援機構の運営する奨学金があります。社会的養護

の子どもには条件が緩和されていますからぜひ応募しましょう。ただし公募期間が短く、問い合わせなどの窓口が高校の先生に限っていることから、締め切りに間に合わないようなこともあり得ます。早くから進路担当の先生に相談しておきましょう。

また、奨学金だけでなく大学などによっては入学金や授業料を減免してくれるところもあります。早めに研究をしておきましょう。

映画「おじいちゃんの里帰り」

日本国際社会事業団(ISSJ)は「子どもを支えるチャリティ映画会&バザー」を7月6日(土)、日本教育会館(東京・千代田区)で開催します。

上映する映画「おじいちゃんの里帰り」は、ドイツから故郷トルコへ3000キロ、3世代10人の大家族がおんぼろバスで旅をするというもの。トルコ系ドイツ人の監督が自身の実体験をもとに実妹と脚本を執筆。おじいちゃんの半世紀に及ぶ奮闘と未来へ続く旅を優しくユーモラスに描いています。

里親関連グッズのご紹介

全国里親会ではフォスタリングバッジやTシャツを販売しています。これらの売り上げの一部は全国里親会への寄付となり、里子・里親のための事業の資金となります。ぜひご協力ください。

<フォスタリングバッジ>

フォスタリングバッジは当会も参加している「子どもの家庭養育推進官民協議会」が日本財団の支援を受けて作成したものです。1個500円です。

<フォスタリングTシャツ>

こちらは1枚3000円(サイズS、M、L、LL)を用意しています。

購入方法などは全国里親会のホームページを参照願います。

<http://www.zensato.or.jp/goods-text>

立命館大学が里親支援者養成講座を公募

立命館大学はフォスタリングソーシャルワーカー養成講座を始めます。対象者は現在里親支援を行っている人、あるいは近い将来里親支援を始めたい人。場所は立命館大学梅田キャンパス。定員は20名。応募期限は7月15日まで。8月25日からの開講。終了は来年3月。講座費用は85000円。日本財団の助成講座です。詳しくはホームページを参照ください。

<https://fostering-socialwork.com/>